



# しばはら

〈学校教育目標〉 明るく さわやかな子の育成

さいたま市立芝原小学校

さいたま市緑区芝原2丁目5番地

TEL 873-4133 FAX 810-1123

Web <http://shibahara-e.saitama-city.ed.jp>



## クリスマスの星

校長 吉岡 貴和

2020年は新型コロナウイルス感染症に翻弄された1年でした。本来ならば、芝原小も年度末の3月に令和初めての卒業生を送りだし、4月からは入学式、進級、館岩、遠足、社会科見学、運動会、などなど、今頃は児童の皆さんのたくさんの思い出が校舎にあふれていたはずですが、多くが延期・中止となってしまいました。この状況はもう少し続きそうです。でも今年、何度も皆さんに言ってきたことですが、「見方を変えれば」今年だからできたこと、今年だから成長できた部分が、一人ひとりにきっとあったはずですが、ぜひ12月中にそれを見つけて、自分をほめ、自信をもって来るべき2021年の新しい目標をたてましょう。ネガティブでなくポジティブな目標を期待しています。

さて、12月になり街に色とりどりの電飾や華やかなクリスマスツリーが飾られるようになると、私はなんとなくワクワクしてきます。特にクリスマスについて造詣が深いわけではないのですが、楽しそうなイベントには参加したくなります。

クリスマスツリーのてっぺんには☆のオブジェがありますね。聖書によると、これはキリストが生まれたことを賢者に知らせる☆で「ベツレヘムの星」と言うのだそうです。正しくは五角形ではなく八角形です。天文学的に考えるとキリストが生まれたとされるBC7年頃に、このように人目をひくどんな新しい星が夜空に現れたのか気になるところです。これまで多くの人がこの興味深い謎に挑戦し、多くの説を発表しています。



「3つの惑星がごく近くに接近した説」  
「超新星が現れ、明るく輝いた説」  
「彗星が地球に接近して見えた説」など。

現在は過去の星空をプラネタリウムなどで簡単、正確に再現できますが、それでもまだこれといった決定打はでていません。今年も悩みながら美しいツリーを眺めることになりそうですが、「まだわからないことがある」これは毎日を楽しむうえで案外大切なことなのかもしれませんね。

※2020年も芝原小学校に対する皆さんの御協力に感謝いたします。  
2021年もよろしくお願ひ致します。 良い年をお迎えください。